

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 救急医療搬送支援システム推進事業運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111 (内 2588)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,126 千円 (前年度予算額：2,126 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,126	547	0	0	0	0	484	0	1,095
要求額	2,126	615	0	0	0	0	484	0	1,027
決定額	2,126	615	0	0	0	0	484	0	1,027

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・国 (経済産業省及び総務省) の委託事業により、岐阜大学が中心となって進めてきた、救急医療の最適化を支援する救急医療搬送支援システム (GEMITS) については、県としてこれまでの実証実験で得られた課題、事業効果を検証したうえで、岐阜大学等の関係機関と協議し、県主導でのプロジェクトの再構築、実用化を進めている。
- ・GEMITSプロジェクトで既に整備されている機器やカードなどの資源を、救急医療現場で有効活用する取り組みを推進し、岐阜県における救急医療の更なる質の向上を目指す。

(2) 事業内容

- ・平成27年度に県が主体となり運用を開始したメディカカード情報読取システムの運用を、利用を希望する地域において継続する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・実施主体 県

- ・国 1 / 3 (医療提供体制推進事業費補助金)
- ・市町村負担金 (アプリケーション保守費の 2 / 3)

(4) 類似事業の有無

- ・類似事業なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,126	システム保守管理費用
合計	2,126	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画 (第 7 期)
第 3 部 - 第 2 章 - 第 6 節 救急医療対策

岐阜大学を中心として開発・研究が進められている救急医療体制支援システム「GEMITS」との連携も含め、他の機関で開発・導入されている先進的な事例の調査・研究を行うことも必要です。

(2) 国・他県の状況

- ・GEMITSについては、岐阜大学が進めているものであり、国 (経済産業省及び総務省) の委託事業として採択され、実証実験を実施した。

(3) 後年度の財政負担

- ・事業継続のためのシステム保守管理費、端末サポート費
- ・平成 29 年度以降は、関係する市町村への負担を求めている。平成 30 年度以降の負担金は、アプリケーション保守費の 2 / 3。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・県の救急医療の更なる質の向上を目指すものであり、県が事業主体となり実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

救急現場において、消防機関、医療機関がメディカカードの患者情報を迅速に共有し、患者情報を医療機関での受入れ準備に活かすこと等により患者に対する救急医療提供の向上をめざす。また、様々な事例を検証し、システムのより効率的な運用をめざしていく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
メディカカード情報読取件数（H27は可茂のみ）	(H)	57件 (H29)	0件 (H30)	20件 (R1)	150件 (R3)	14%
メディカカード情報オンライン送信件数（H27は可茂のみ）	(H)	5件 (H29)	5件 (H30)	0件 (R1)	30件 (R3)	0%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

岐阜大学、可茂地域の救急病院、可茂消防本部等の関係機関と協議し、新たなメディカ情報読取システムの導入を行い、H27年8月より実運用を開始した。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

救急隊によるメディカカード情報の読取件数は123件、うちGEMITSネットワークに参加する医療機関へ情報を送信した件数は17件。また、居住時以外の地域でもメディカカードが活用できるよう、NPO主体で全県域にシステム導入を図っているところ。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	岐阜県の救急医療の更なる質の向上を目指すものであり、事業の必要性、県の関与の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) △	メディカカードを全県的に普及させること、読み取ったカード情報をオンラインで共有できる医療機関を拡大する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	GEMITSプロジェクトにおいて、既に整備がなされている機器、カード等の資源を有効活用するものであり、効率的な事業実施方法である。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後の事業展開には、費用負担も含め、メディカカードの普及が鍵である。メディカカードの利用頻度も著しく低いため、引き続き普及に努める必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内約1万8千人の患者の命を支えるシステムとして、引き続き、岐阜大学、NPO法人岐阜救急災害医療研究開発機構、病院、消防等と連携しながら事業を進めていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	